

上南だより

第405号

2023. 5. 1

発行

岡山市立上南公民館

〒704-8166

岡山市東区君津636

TEL & Fax 948-3352

H P <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000010910.html>E-mail jounankouminkan@city.okayama.lg.jpFacebook <http://www.facebook.com/JounanKouminkan/>

H P



Facebook

新型コロナウイルス感染拡大予防について(R05.3.13~)

- ・館内でのマスク着用については個人の判断で行ってください。
- ・来館までに体温測定、体調を確認してください。
- ・発熱やのどの痛み、咳等ある方や体調がすぐれないときは来館をお控えください。
- ・来館された際には、手指消毒または手洗いを行ってください。

主催講座のご案内

* 申込不要の講座以外は、締切日までに申込みをしてください。

第4回上南今昔絵図めぐりウォーキング

—歴史に思いをはせて—

今を生きる私たちが昔を知り、そして伝える。そんな思いを込めて作った絵図を持って上南地区を歩いてみませんか？

日 時 5月27日(土) 9:00~14:00

雨天時：5月28日(日)に順延

内 容 地区南部を中心に沖新田八十八カ所をいくつか見て歩きます。約7kmの行程です。お昼時間にお楽しみお菓子釣りの時間も予定しています♪

集 合 開成コミュニティハウス前
岡山市東区九幡1036-1

参加費 200円(当日集金・保険代含む)

定員 50人(先着順)

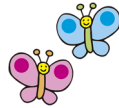
持ち物 歩きやすい服装と靴、帽子、飲み物、汗ふきタオル、雨具、筆記用具、昼食

〆 切 5月20日(土)

主 催 上南歴史を伝える会、上南公民館

※小学生以下の方は保護者同伴でお願いします。

※「九幡デリ」のお弁当(税込み500円)希望の方は申込み時にご注文ください。当日集金。



不要なものも、必要な人に有効活用してもらいましょう！ 苗の交換会

日 時 5月26日(金)~5月27日(土)
9時30分~17時

※持ち込み・持ち帰りは自由です。

※毎年好評です。苗がなくなり次第終了です。

※26日(金)10時~12時の間、地域の方が苗の育て方の相談を受けてくれます。

食器と本の交換会



持ち込み期間：

5月11日(木)~5月27日(土) 9時30分~17時

交換期間：

5月26日(金) 9時30分~6月20日(火) 15時

※持ち込み時の注意点

・食器はきれいに洗ってください。

・ひどく汚れているものや破損しているものはご遠慮ください。

※持ち込み方法の詳細は、公民館までお問合せください。

はじめよう！エコライフ

エコ料理&家計簿カフェ

~値上げラッシュ！あなたの生活、見直してみませんか~

日 時 6月12日(月) 10:00~12:00

講 師 岡山友の会のみなさん

内 容 ・フライパン1つでできるおかず
・子どもも大好き、鍋1つでできるクリームパスタ
・机上実習(コーヒーつき、試食あり)
・家計簿をつけてよかった話

参加費 1人300円(当日集金)

持ち物 飲み物

〆 切 6月6日(火)

※参加者の調理実習はありません。



健康ウォーキング

西大寺緑花公園を歩こう

日 時 5月19日(金) 10:00~12:00(雨天中止)

集 合 西大寺緑花公園・百花プラザ駐車場 9:50

内 容 駐車場~緑花公園周遊コース~西川沿いの道~西大寺観音院~駐車場

持ち物 動きやすい服装、靴、飲み物など

〆 切 5月18日(木)



上南公民館だよりは毎月発行しており、各町内会長様のご厚意で上南地区全戸に配布していただいています。いつもご協力をありがとうございます。

あっ晴れ！もも太郎体操(若返会) &公民館カフェ

毎週金曜日に体操を続けて元気になりませんか。いつからでも参加できます。動きやすい服装で水分補給用の飲み物をご持参ください。

実施日 5月12日(カフェあり)、19日、26日
6月2日(カフェあり)、9日、16日、23日、30日
*金曜日の10時～

場 所 公民館1階ロビー

※申込不要。初回のみ参加票に記入していただきます。
※月始めの金曜日は、もも太郎体操の後11時頃から気軽におしゃべりできる「公民館カフェ」をします。
お茶(コーヒー代)：1人100円
内容：5/12…おやこクラブとの交流かんたん工作
6/2…ペタンクを楽しむ

発達障害についての学習・情報交換と交流の場所 オレンジクローバーの会


日 時 5月22日(月) 10:00～12:00
内 容 座談会「新学期・新生活を迎えて」～子どもの自立を支援する時に必要な「合理的配慮」について考えよう～

講 師 青野雅世さん
(NPO法人子どもシェルターモモ理事)

対 象 どなたでも
定 員 20人 参加費 無料


持ち物 筆記用具、飲み物

切 5月20日(土)



上南シネマ 「信さん炭坑町のセレナーデ」

日 時 5月15日(月) 13:30～15:30
作 品 2010年 日本
定 員 20人 5月14日(日)



上南いきいき教室


日 時 5月16日(火) 14:00～16:00
内 容 60代からの認知症予防～セルフチェック～

講 師 岡山市ふれあい介護予防センター

対 象 おおむね65歳以上の岡山市民

持ち物 フェイスタオル、筆記用具、マスク、水分補給ができるもの

参加費 無料 申込 不要



上南高齢者大学

5月以降の年間予定表です。各回申込が必要です。講座の1ヶ月前から受付を開始します。講座日の前日(前日が水曜日で休館の場合は前々日)までにお申し込みください。
※バス研修旅行の詳細は8～9月頃ちらし等でお知らせします。

時間 各回10:00～12:00


5月25日(木)	私たちの生活をうるおす『論語』の言葉 森熊男さん(岡山大学名誉教授)
6月8日(木)	今が青春 一生青春 ～わが人生に定年は無し～ 井上凱文さん(フリーアナウンサー)
6月29日(木)	どうなってるの?日本の男女平等 ～知ろう目指そうジェンダー平等～ 角田みどりさん(岡山県人権政策審議会委員)
8月10日(木)	あなたの肺は元気ですか? 佐藤功さん(宇多津病院放射線科画像診断センター長)
9月4日(月)	岡山弁再発見 青山融さん(岡山弁協会会長)
10月12日(木)	岡山の礎を築いた宇喜多直家・秀家親子 片岡学さん(瀬戸内市歴史まちづくり財団専務理事)
10月	バス研修旅行(計画中 詳細は8～9月頃お知らせ)
11月9日(木)	遺言と相続 曳木仁さん(司法書士ヒキギ事務所)
12月5日(火)	坪田譲治の生涯と岡山に根差した作品 山根知子さん(ノートルダム清心女子大学教授)
1月11日(木)	新春初笑い落語会 噺の会じゅげむ岡山支店さん

パソコン相談&学習ルーム

パソコンに関する相談にボランティアが対応します。

日 時 5月11日(木) 13:30～15:00
講 師 パソコンサークル上南
持ち物 筆記用具、パソコンの持ち込み可
受講料 無料
申 込 不要

※相談について、ボランティアでも対応しかねる場合があります。ご了承ください。



運営委員会で本を買っていただきました

「ぼくのたび」(みやこしあきこ)
「カンガルーの子どもにもかあさんいるの?」
(エリック・カール)
「ぼくはいつたいどこにいるんだ」(ヨシタケシンスケ)
「ぼくの!」(マチルデ・ステイン、ミース・ファン・ハウト)
「ポケモンをさがせ!あたらしいぼうけん」
「人生後半、上手にくだる」(一田憲子)
「坊さん、父になる。」(白川密成)
「老年を面白く生きる」(曾野綾子)
「70歳からは大学病院に行ってはいけない」(和田秀樹)
「80歳の壁」(和田秀樹)
「老害の壁」(和田秀樹)
「「いいこと」を引き寄せる法則」(和田秀樹)
「セカンドライフ、はじめてみました」(bonpon)

上南地域づくり会議より

岡山市社会福祉協議会って何を行っているところ？

5月は気候も良くすがすがしさが感じられ、各地域では新たな活動が行われていることと思います。

私たち岡山市社会福祉協議会は「社協さん、社協さん」と地域の方に親しまれていますが、反面、「社協さんって、何を行っている所なの？」と言う声も良く聞きます。

岡山市社会福祉協議会では誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会づくり』を基本理念として、住民やボランティア、市民団体の方々など公私福祉関係者とともに地域福祉活動を中心に様々な活動を展開しています。

地域に関わる主な活動は次の通りです。

- ◇ みんなで地域の事を話し合う場づくり(支え合い推進会議)や地域の困りごとの事情に応じた支え合い活動の推進を行っています。
- ◇ ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等を対象とした「あんしんカプセル」を活用した見守り・声かけ活動を推進しています。
- ◇ 地域で行っているふれあい・いきいきサロンの活動を支援しています。
- ◇ 子ども食堂・学習支援・プレーパーク等の子どもの居場所づくりの活動を応援しています。



その他、あらゆる生活課題を受け止め寄り添う体制づくり、地域で安心して生活できる体制づくり、多種多様な団体をつなぎ・つながる仕組み作りなど様々な活動を行っています。

岡山市社会福祉協議会東区事務所



●職員の異動がありました

退任のあいさつ

上南で過ごしたコロナ禍の3年間は、人が集い、学び、活躍する場としての公民館の必要性を強く感じる3年間でした。短い間でしたが、地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。これからの地域の発展と、皆様のご多幸とご活躍をお祈りしています。

竹内 絵理



平成26年から9年間、地域担当職員として勤務させていただきました。

上南学区の各町内自主防災会、サロン会、老人クラブ、交通安全協議会、小学校、中学校の皆様には防災・防犯・特殊詐欺・交通安全・防火などの講座や研修を担当させていただきました。

また、来館していただいた皆様に、来てよかった、楽しかった、また来たいと思っていただけるよう環境美化や図書充実、コミュニケーションを取ることに努めました。

在任中、楽しく元気に過ごせたのも皆様方のご協力があったからだと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

上南学区及び皆様方のご健勝とますますのご発展をお祈りいたします。

松田 雄司

着任のあいさつ

旭公民館から異動でまいりました。上南今昔絵図のいろいろなコースを歩いてみるのが楽しみです。少しずつ地域のことを勉強していきたいと思ひます。

不慣れなことが多く、何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも早く慣れて皆様のお役にたてるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

植山 明美

4月1日付で地域担当職員として岡山市立上南公民館へ配属になりました。

安全安心ネットワーク活動の6つの柱、防犯、交通安全、防災、環境美化、地域福祉、地域づくりの活動を地域の方々と共にすすめていきます。

不慣れなことも多々ありますが、地域の方々と課題を共有し、様々な立場の方の考え方に触れながら、一日も早く地域に溶け込めるよう精進していきますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

岩部 亜紀

★リレートーク⑧

障がいがあっても地域で子育てしていきたい

オレンジクローバーの会代表 井上美和

オレンジクローバーの会は、発達障がい児の親の会として2010年（平成22年）に上南公民館の主催講座として活動を開始しました。当時はまだ今のように障がい児に対する理解や支援も進んでいませんでした。同じ悩みを持つ保護者同士の交流を目的とした座談会や障がいの特性や支援の知識を深めるために専門の講師による講演会等を開催してきました。

公民館は、幼保園、小中学校、民生委員、安心・安全ネットワーク等との繋がりもあり、協働の観点からも障がいのある子どもの育ちを長期スパンで考えた時、地域に根差した活動ができる拠点として、公民館と共に会を続けられていることはとても有り難いことです。

子どもたちにとって上南学区が自分の育った「場所」になります。自分の子どもも小さい頃は大変でしたが、小学校入学から就労に至るまで、会のメンバーや地域の方、多くのご縁に支えられて子どもを理解し支援していくことができました。現在、発足当初の会の子どもたちも社会人となり、環境が人を育てるということを感じています。子どもたちにどのようなまなざしが向けられているかが、その子たちの居場所を作っていくことに繋がっているのだと実感しています。

オレンジクローバーの会が、クリニックや療育、支援センター以外の身近な相談の受け皿となれば幸いです。今後も公民館と協力して活動を続けていきたいと思えます。



5月オレンジクローバーの会の詳細は中面をご覧ください。

上南今昔絵図～沖新田八十八カ所納札巡り～ 第二版登場の人物

「時実新子－川柳界の与謝野晶子と称された九幡出身の女性がいた－」

女性の激しい情念を詠み、川柳界に新風を吹き込んだ時実新子は、昭和4年東区九幡に生まれている。当時の九幡には、機帆船が出入りし、浚渫（しゅんせつ）船の採取した吉井川の砂利を積んでは京阪神方面に出て行く賑やかな港の風景があった。

新子は5歳の頃、吉井川の河口と児島湾が交わるあたりの風景の中で、「宇宙の巨きな意思（うちゅうのおおきなちから）」を感得したといわれる。その後の作品の中で、この原風景が彼女に人生の様々な困難を乗り越えさせる力を与えたのではないかと。

われは海の子 光の中へ 帰りたいし （昭和57）

この川に また逢うだろう 微笑して （平成18）

断念の 海の一点から 朝日 （平成19）

時実新子を一躍有名にしたのは、昭和62年12月、58歳の時に刊行した句集「有夫恋（ゆうふれん）」である。同じ年の5月、俵万智（たわらまち）が短歌集「サラダ記念日」を刊行し、与謝野晶子以来の天才歌人と話題になっていた。ちょうど女性が多様な生き方を模索し始めた時代であったから、この2人の女性の作品は時代にマッチしてベストセラーになっていった。

その時から78歳で亡くなるまで新子はインタビュー取材や執筆依頼が後を絶たず、走りっぱなしの日々が続いた。ありきたりではない、自分の言葉をひるまず詠んだ魂の句は常に時代の先頭を走っていた。

不遇の少女時代を送り、意に沿わない結婚を機に生まれた土地を離れた新子は、生涯故郷をもたないと言い続けていたが、晩年九幡を訪れ祖父母の墓に参り、幸せの報告をしている。

川岸を 生まれ在所として 恥じず

生涯に 一つの幸の 殉死あり



文：「上南歴史を伝える会」奥山玲子